

創立から5年という異例の短期間で日本オーケストラ連盟に加入！
今日本で最も注目を集めるプロオーケストラ

AMABILE
PHILHARMONIC

あなたの街にあります！「茨木市」のオーケストラ

アマビレフィルハーモニー管弦楽団

第14回定期演奏会

2023年12月22日(金)

開場 17:30 開演 18:30

住友生命いずみホール

(大阪市中央区城見1-4-70 住友生命 OBP プラザビル)

指揮
松岡 究



ヴァイオリン
藪野 巨倫



B.スメタナ
連作交響詩「我が祖国」より 第2曲 ヴルタヴァ (モルダウ)
B.ブリテン
ヴァイオリン協奏曲 作品15
L.v.ベートーヴェン
交響曲第9番 ニ短調 作品125 「合唱付き」



ソプラノ
奥野 麻琴



アルト
木村 千晶



テノール
谷 浩一郎



バリトン
湯浅 貴斗



入場料 S席 5,000円 / A席 4,000円 / B席 3,500円

《全席指定・税込》※未就学児入場不可

主催/お問い合わせ/チケットご購入

一般社団法人アマビレフィルハーモニー管弦楽団

TEL: 072-648-5874 / E-MAIL: contact@amabile-philharmonic.com
(9:00~18:00)

チケットご購入

ツイキャスにて同時生配信!!

配信チケット
2,000円(税込)

ご購入はこちら→



住友生命いずみホールチケットセンター

TEL: 06-6944-1188 / オンラインチケットサービス →
(10:30~17:00 / 日・祝休)



後援 公益財団法人茨木市文化振興財団/公益財団法人関西・大阪21世紀協会

助成 JLOXコンテンツ海外展開促進・基礎強化事業費補助金 (ライブエンタメ産業の基礎強化支援)

感染症対策: 政府や自治体等のガイドラインに従って対応させていただきます。

あなたの街にあります！「茨木市」のオーケストラ
アマールレフィルハーモニー管弦楽団
第14回 定期演奏会



[指揮] 松岡 究 *Hakaru Matsuoka*

指揮を小林研一郎、ヨルマ・バヌラ、ランベルト・ガルテリに師事。音楽学を戸口幸策に師事。1987年、ドニゼッティ「ピバ・ラ・マンマ」でデビュー。1991年文化庁在外派遣研修員として、ハンガリー・ブダペストに留学。小林研一郎、ランベルト・ガルテリの下で研鑽を積む。その間スウェーデン・アルコンスト音楽祭にヨルマ・バヌラより招待され、タリン国立歌劇場管を指揮。「卓越した才能」と激賞された。帰国後は主に東京オペラプロデュースを中心に数々のオペラを指揮。93～96年新神戸オリエンタルホテル劇場では常任指揮者としてオペラとコンサートをプログラミング・指揮した。また特にオペラで日本初演した作品は数多い。グノー「ロメオとジュリエット」、ワグナー「恋愛禁制」、ベルリオーズ「ペートルスとベネディクト」、ヴェルディ「2人のフォスカリ」「一日だけの王様」、ロッシニ「とてつもない誤解」「ランスへの旅」（日本人による日本ロッシニ協会による初演）、R.シュトラウス「無口な女」（舞台初演）、ドニゼッティ「当惑した家庭教師」、ヒゼー「美しいパースの娘」、ヘルマン・ケッツ「じゃじゃ馬ならし」。これらはいずれも各界から大きな反響と高い評価を獲得し、「きわめてバランス感覚に富んだ逸材」、「熱連の指揮ぶり、自らが意図する表現に歌手を自然に導く」、「オケから洗美的な響きを引き出し、抜群」等新聞各紙、音楽雑誌などで絶賛された。この他にも、R.シュトラウス「カプリッチョ」、プリテン「ねじの回転」（新国立小劇場）等も高い評価を受けた。2009年4月から東京ユニバーサルフィル専任指揮者に、また日本オペレッタ協会の音楽監督にそれぞれ就任した（2009年～2012年の4年間）。音楽監督就任後、ベルタの「シェーベルトの青春」、カールマンの「チャールダーシュの女王」、レハールの「ルクセンブルク伯爵」、シュトルツの「シュトルツの青春」やオペレッタ・ガラ等を指揮している。2004年11月より2007年10月までローム・ミュージック・ファンデーションの音楽特別研究員としてベルリンにて研修。2012年9月東京ユニバーサルフィルハーモニー管弦楽団専任指揮者を経て常任指揮者に就任。2023年4月より一般社団法人アマールレフィルハーモニー管弦楽団音楽監督兼常任指揮者。



[ヴァイオリン] 藪野 巨倫 *Kirin Yabuno*

京都市立芸術大学大学院音楽研究科修士課程修了、及び修了時に大学院市長賞受賞。在学中派遣交換留学奨学生に選出され、ドイツ・フライブルク音楽大学留学。第22～25回、29回京都フランス音楽アカデミーマスタークラス受講、第34～35回草津夏期国際音楽アカデミーマスタークラス受講。2015年ヨーロッパ国際マスタークラス受講。第64回全日本学生音楽コンクール高校の部大阪大会入選、第20回日本クラシック音楽コンクール第4位、左記2コンクール入賞により京都市教育委員会より表彰を受けた。第14回大阪国際音楽コンクール入選。新進演奏家育成プロジェクトオーケストラ・シリーズ大阪第25回にてソリストとして日本センチュリー交響楽団と共演（現田茂夫指揮）。2020年より一般社団法人アマールレフィルハーモニー管弦楽団正団員。2021年映画「ミュージコフィリア」にて、劇中のヴァイオリン・ソナタをはじめ、メインの楽曲のヴァイオリン演奏を担当。2022年長浜市・長浜市民芸術文化創造協議会主催の新作オペラ「しのぶととき」（植松さやか作曲）初演にて独奏ヴァイオリンを務めた。現在、関西を拠点にソロや室内楽、京都市交響楽団や大阪交響楽団などのオーケストラの客演と幅広く活動を展開している傍ら、後進の指導にも熱心に取り組んでいる。これまでにヴァイオリンを西岡真美、阿部京子、木村和代、V.バラシュケウォフ、四方恭子、G.フォン・デア・ゴルトツ、ヴィオラを平田泰彦、小峰航一の各氏に師事。



[ソプラノ] 奥野 麻琴 *Makoto Okuno*

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。同大学大学院修士ソロ課程修了。東京二期会オペラ研修所第54期マスタークラス修了。第54回全日本学生音楽コンクール一般の部東京大会入選。「ラ・ボエーム」「魔笛」「こうもり」「愛の妙薬」「子供と魔法」等数多のオペラで主要キャストで出演。声楽を毛利準、朝倉蒼生、岩淵嘉盛、佐橋美起の各氏に、ピアノを篠井肇子氏、また和声、ピアノ伴奏法を青嶋広志氏に師事。東京二期会会員。



[アルト] 木村 千晶 *Chiaki Kimura*

大阪音楽大学音楽学部声楽学科卒業。メゾソプラノとして、アンサンブルグループやオペラの場合で活動している。ロビーコンサート等各種演奏会に出演する他、ソリストとしては第九アルトソロ、オペラ「魔笛」クナーベⅢ、「ヘンゼルとグレーテル」ヘンゼル、「泣いた赤おに」赤おに等スホン役や、「フィガロの結婚」マルチェリーナ役等出演。現在大阪公立大学混声合唱団「いちごん」ヴォイストレーナー。堺シティオペラ、音楽愛好家協会「こんごう」、神戸波の会各会員。ザ・タローシンガーズ、上方オペラ工房各メンバー。



[テノール] 谷 浩一郎 *Kichiro Tani*

ドイツ国立マンハイム音楽大学卒業。在学中、マンハイム国立歌劇場にてソリストとして出演。パッハの「クリスマスオラトリオ」の福音史家は地元紙に「日本人テノール谷浩一郎は聴衆の外国人福音史家のドイツ語の発音に対する全ての疑念を払拭し、彼の輝かしい響きをもってその役を歌いあげた。」と称賛を浴びる。兵庫県立芸術文化センターワンコインコンサートに出演（2000席が発売開始日に即日完売）、2017年No.1アーティストに選出される。サントリー1万人の第九指導者。同志社女子大学、音楽創作工房ムジカヴィーヴァ、関西歌劇団オペラ教室、神戸市民文化振興財団各講師。東大阪市市民オペラ芸術監督。関西歌劇団理事。



[バリトン] 湯浅 貴斗 *Takuto Yuasa*

奈良県出身。大阪音楽大学大学院生修了。新国立劇場オペラ研修所第22期生修了。抒情的な音色と幅広い音域を活かし、これまでにオペラではモーツァルト作品の主要なバリトン、バス役をはじめ、「悩める劇場支配人」クリソーボロ（日本初演）、《蝶々夫人》シャープレス、「ラ・ボエーム」コッリーネ、「カルメン」ズニガ、「メリー・ウィドウ」ツェータ、「イオランダ」レネ王などを演じ、（第九）や宗教曲、バロック音楽のソリストも務める。兵庫県立芸術文化センター主催ワンコイン・コンサート、ザ・シンフォニーホール主催オールスター紅白オペラ歌合戦などのコンサートにも出演。コンクール多数受賞。

アマールレフィルハーモニー管弦楽団

当楽団は「若手演奏家にもっと演奏の場を」という思いのもと、株式会社アマールレ楽器の資金提供を受け、2015年7月1日に設立。以来積極的に演奏会を重ね、公演回数は既に300回を超える。2020年に公益社団法人日本オーケストラ連盟に加盟。公演実績だけでなく他方面からの様々な支持を得ることに加え、特に歴史を重んじるクラシック業界において、創立からわずか5年という異例の短期間で日本オーケストラ連盟に38番目のプロのオーケストラ団体として加入が認められる。

地元茨木市を中心に幅広く演奏活動に取り組む。これまでに「定期演奏会」を13回、ソリストを主役に迎える「コンチェルトシリーズ」を20回、創設当初から根強いリピーターを獲得してきた室内楽コンサート「サロンコンサートシリーズ」を約190回、気軽にクラシックを楽しめる「ファミリーコンサート」も定期的に開催しており、各回ともに満席となっている。

令和4年度には文化庁文化芸術による子供育成推進事業 巡回公演事業に採択されると言う快挙を果たし、文化庁 子どものための文化芸術体験再興事業と合わせ100公演以上を実施。茨木市を中心とした保育園、幼稚園、学校などの教育機関への有償訪問公演、高齢者施設からの依頼公演なども積極的に実施。また地域へのボランティア活動として、茨木市を中心に無償にての子供向けの訪問演奏も積極的に行う。

2020年より楽団YouTubeアカウントから積極的に演奏動画を発信しており、コロナ禍における若い演奏家の演奏機会創出や、広い世代へのクラシック音楽の振興、より広く楽団を周知する活動等に努め、飛躍を成し遂げている。

